

第13回埼玉県障害者アート企画展

Coming Art 2022

来たるべき、
次のアート。

カミングアート2022



今年で13回目を迎える埼玉県障害者アート企画展。

埼玉県が実施する「障害のある方の表現活動状況調査」には毎年、「これってアート?」と思われる表現から、社会的に注目を集める作家の新作まで実に多彩な作品が集まります。

この調査票をもとに、30以上の福祉施設や行政の職員、
美術の専門家などがネットワーク（埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±O）を結び、
それぞれの視点で話し合いながら出展作品を選考しています。

本展では、交ざりあう価値観の中から選び抜かれた111名の作家による600点を超える作品をお届けします。

2022年12月7日 **水** — 11日 **日** | 10時～17時 | 会期中無休
(最終入場は16時30分)
埼玉県立近代美術館 | 一般展示室1・2 [地下1階] | 入場無料



主催: 埼玉県障害者アートネットワーク TAMAP±O、社会福祉法人みぬま福祉会 共催: 埼玉県、埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会
後援: 上尾市、春日部市、加須市、川口市、川越市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、さいたま市、狭山市、白岡市、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、飯能市、東松山市、日高市、深谷市、本庄市、三郷市、宮代町、毛呂山町、吉川市、吉見町、嵐山町、JR東日本大宮支社
協力: アートセンター集協力委員 助成: 令和4年度埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業

みんなで つくる展覧会!

Coming Art 2022

第13回埼玉県障害者アート企画展 カミングアート2022

埼玉県障害者アートネットワーク TAMAP士O(通称タマップ)には、30団体に及ぶ福祉施設が参画し、障害のある人たちの表現の魅力や支援のあり方を、月1回の会議や研修を通して学び合っています。対話を重ねながら様々な視点を取り入れることを大切に、みんなで展覧会をつくり上げています。

動画配信 YouTube

「工房集YouTubeチャンネル」にて埼玉県障害者アート企画展の魅力がぐっと深まる2本のギャラリートークを配信予定です!

Part

1 美術と福祉の視点

本展監修の中津川浩章氏と新潟市美術館館長の前山裕司氏による展覧会の見どころや作品の魅力についての解説に加え、作品が生まれる背景をよく知る福祉施設職員ならではの2つの視点が見え入りあうギャラリートークです。

Part

2 美術教育と障害者アート

美術教育と障害者の表現活動、その根底に流れる共通項とは? 埼玉大学教授の石上城行氏と美術教育を学ぶ学生、それぞれの視点から考える障害者アートについてお話しします。



 SyuTube

会場

入場無料

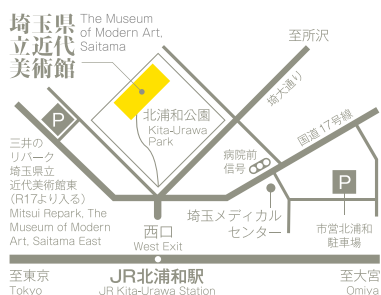
埼玉県立近代美術館 一般展示室1・2 [地下1階]

埼玉県さいたま市浦和区
常盤9-30-1

Tel:048-824-0111

※JR京浜東北線北浦和駅西口より
徒歩3分(北浦和公園内)

※駐車スペースがないためお車の場合は
予め周辺駐車場をご確認ください。



壮絶に美しいものは、はかないもの。いのちぎりぎりの場所から生み出されるものたち。その魅力や可能性に気づいたのは福祉の現場にいる人たち。目の前にいる意味不明な行動をする彼女や、ときどき暴れて手が付けられなくなり周りも途方に暮れる彼。そんな世界はガラリとその意味を変える、変わっていく。人間の隠されたコミュニケーション表現の発見。できないことが持つ可能性。効率重視の社会に噛み合わない人たちの中に在る「人間」の強く激しい表現。それを支え引き出す福祉現場スタッフの物語がこの展覧会には詰まっている。

本展監修・中津川浩章

お問い合わせ

アートセンター集

(社会福祉法人みぬま福祉会 工房集内)

Tel:048-290-7355

Fax:048-290-7356

E-mail:artcenter@kobo-syu.com

URL:https://artcenter-syu.com



来館に関するお願い:新型コロナウイルス感染症予防対策のため、体調不良や37.5°C以上の発熱、風邪症状等ある場合は来館をお控えください。

また会場では咳エチケット、マスク着用・手指消毒、社会的距離の確保等にご協力ください。その他、会館の規定により観覧方法等についてお願いする場合があります。